

二〇二五年四月二日

辻風に螺旋を描く飛花落花	むべ
花万朶永遠の平和を祈る碑に	うつぎ
満開の桜も見ずやガードマン	よう子
影連れてゆつくり流る花筏	うつぎ
歩道橋持ち上げてをる花の雲	むべ
キャンパスの大路は今し花吹雪	澄子
踏青子椰子の蒼天仰ぎけり	ぼんこ
キャンパスの野外ロックに花吹雪	たか子
バス楽し花の坂道七曲り	もところ
どた靴のぬぎ散らばりし花筵	なつき
耳当てて木槌でこんと桜守	かかし
汝の肩にひとひら残る落花かな	澄子
久闊を叙して姦し花万朶	康子
うららかや甲山背に時計台	わかば
花筏澱みし水面明るうす	こすもす
若葉影映す学舎のアーチ窓	康子
キャンパスに満つる青春風光る	こすもす

定例WEB句会みのる選

二〇二五年四月二日